

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和3年度第2回 さいたま市岩槻人形博物館運営委員会
2 会議の開催日時	令和4年1月19日～31日
3 会議の開催場所	—
4 出席者名	新井委員長、是澤委員、新委員、池田委員、 大越委員、加藤委員、抜井委員、三次委員、 森田委員
5 欠席者名	清水委員
6 議題及び公開又は非公開の別	(議題) (1) 令和3年度の事業実施状況について(報告) (2) 令和4年度の事業計画(案)について (公開又は非公開の別) 非公開
7 非公開の理由	情報公開条例第23条第3号のため (公開することにより新型コロナウイルス感染拡大のおそれがあり、当該会議の適切な運営に支障が生ずるため)
8 傍聴者の数	—
9 審議した内容	(1) 令和4年度の事業計画(案)について
10 問合せ先	スポーツ文化局文化部岩槻人形博物館 電話 048-749-0222 FAX 048-749-0225
11 その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 郵送により書面での審議を行いました。

## 令和3年度第2回岩槻人形博物館運営委員会【書面開催】 議事概要

- 1 日 時 令和4年1月19日(水)～31日(月)
- 2 出席者 委員(9名)(五十音順)  
新井久代委員長、新雅史委員、池田直人委員、大越久子委員、加藤三郎委員、  
是澤博昭副委員長、抜井ゆかり委員、三次宣夫委員、森田由美子委員
- 3 欠席者 委員(1名) 清水一郎委員
- 4 公開・非公開の別 非公開(情報公開条例第23条第3号のため:公開することにより新型コロナウイルス感染拡大のおそれがあり、当該会議の適切な運営に支障が生ずるため)
- 5 議 事  
(議案1) 令和3年度の事業実施状況について(報告事項)

### 出席者9名のうち、内容確認済みと回答 9名

[報告に対する意見]

- 委 員 「地域と連携」が進展していることを心強く感じた。修復事業について、修復技術が確立していないなかで大変と思うが、この事業の意義を修復プロセスとともに市民に伝えていくことも良いのではないか。
- 委 員 修復事業の状況が知れて良かった。修復の実践と報告の蓄積が館の大きな力となる。作品の収集の状況について、記載、報告してほしい。来館者数は、コロナ禍の状況下で、不足ないと感じる。むしろ次年度の目標値は高すぎるのではないか。
- 委 員 文人・作家の外国旅行の際に蒐集した人形・玩具を、ストーリーをつけて借用展示することを検討してほしい(例:徳富蘆花 芦花公園内の展示場に人形・玩具あり)
- 委 員 新型コロナウイルスの影響が比較的薄れていた10～12月の来館者数が、前年比で減という結果については残念だが、団体見学が浸透していることは明るい兆しである。ワークショップに関しては、空きがあれば当日参加可能などの対応も、今後考えていけば良いと思う。この館での修復事業は人形分野に資する部分も大きいため、作業風景等を遠隔で見学できる方策や、YouTube等で発信することなども検討してみると良い。
- 委 員 コロナ禍にあつて来館者の増数は厳しいところだが、引き続き広報活動には力を入れてほしい。「散歩の達人」への掲載は良いと思う。

(議案2) 令和4年度の事業計画(案)について(審議事項)

[書面決議結果] 出席者9名のうち、承認 9名 不承認 0名

よって議案2は議決された。

以 上

# 【議案1(報告事項)】令和3年度の事業実施状況について

## 1 展示事業

令和3年度後半はコロナのワクチン接種が進むなどして若干状況が落ち着いたため、予定通りに事業を展開することができた。関連行事もコロナ対策・入館制限しながら開催することができた。当館の講座室を使う座学の講演会および講座の定員は30名で募集し、おおむね会場が埋まる形で終ることができた。

### ①企画展「御所人形-輝く肌の魅力」

[39日間、来館者数 2,639人]

会期：2021年7月17日(土)～8月29日(日)

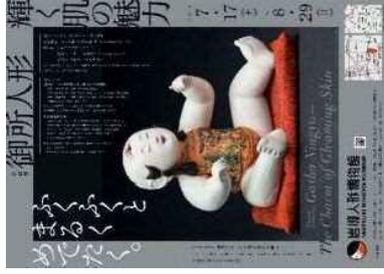
関連行事：講演会「白の美意識-江戸美人の流行通信」

日時：8月1日(日) 午後2時～午後3時30分

講師：村田孝子氏(美容考古学研究所所長・

元ポーラ文化研究所シニア研究員)

参加者：36名



### ②特別展「西澤笛歌一人形をひのき舞台へ」

[44日間、来館者数 6,000人]

会期：2021年10月9日(土)～11月28日(日)

入館料：400円(特別展料金)

関連行事：①講演会「美と郷土と西澤笛歌の人形と柳宗悦の民芸」

日時：10月17日(日) 午後2時～午後3時30分

講師：濱田琢司氏(関西学院大学教授)

参加者：23名

②講座「西澤笛歌って誰ですか?…人形界を盛り上げた、仕事とコレクション」

日時：10月31日(日) 午後2時～午後3時30分

講師：担当学芸員

参加者：15名

③ワークショップ「おもちゃ絵を楽しむ

～佐々木一澄さんによるトーク&ワークショップ～」

(シルクスクリーンによるトートバッグ作り)

日時：11月6日(土) 午後2時～午後4時

講師：佐々木一澄氏(イラストレーター)

参加費：1,000円

参加者：13名

④展示解説

日時：10月24日(日)、11月20日(土)

午後1時30分～



### ③企画展「創作人形作家の雛とおもちゃ絵～人形の近代をめぐる～」

[45日間]

会期：2022年1月29日(土)～3月21日(月・祝)

関連行事：①講演会「人形趣味の近代-古物収集から人形作家作品へ」

日時：2月26日(土) 午後2時～午後3時30分

講師：神野由紀氏(関西学院大学教授)

②ワークショップ「つくろう、おひなさま

～ふじ雛の絵付け体験～」

日時：2月6日(日) 午前10時～、午後2時～

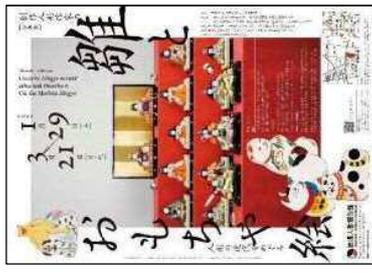
講師：担当学芸員

参加費：400円

③展示解説

日時：2月20日(日)、3月13日(日)

午後1時30分～



## 2 教育普及事業

### (1) 博学連携(学校見学)

令和3年12月末までの、小学校の校外学習実績は以下のとおり。<解説ボランティア4名参加>

小学校	学校数(校)	人数(人)		合計
		児童数	引率者数	
市内	28	2,447	152	2,599
市外	24	2,084	129	2,213
	4	363	23	386

(区別：岩槻5、萩・商4、見沼・中央・浦和・緑2、西北・大宮1)  
(他市：春日部市2、越谷市2)

※1～3月の予定：市内 8校、市外 2校 計 10校

### (2) ボランティア構築

令和3年度は前期後期の2回ボランティア募集を行う計画で進めてきた。昨年度から継続の4名に加え、今年度は前期に1名を採用し、10月以降は5名で活動を進めてきた。さらに12月24日を締め切りとして後期募集を行い、1月の面接を得て、数名を採用し、2月からの研修終了後に活動をスタートする予定。

現状の5名は、4月より小学校の校外学習における映像学習の解説やワークショップの補助で実績を積んでいる。ボランティア研修については、5回目(15時間程度)が終了した。今後は3月までに4回ほど研修を行う予定である。



ボランティア研修



ワークショップ補助

# 令和3年度の事業実施状況について

## (3) ワークショップ

ワークショップもコロナの状況を見ながら、開催時期をずらすなどして開催した。

### 令和3年度後半期ワークショップ

タイトル	①にらほはだのミツ 動物編	②子ども大空講座 「ふんばく飛行アワー〜人形の翼を大 空へ 動物ついでに555〜」	③演習員の世界 組巻をやつてのなつ〜源氏香	④のこら、水ま ついははの巻付け体験	⑤くろく、ホウ登
内容	 体験型WS。昨年開催した桐 粉職の体験、伝統的な人形に は欠かせない羽粉を知る。 羽粉とは何か、人形の他にど のようなのかに使われている のよさを知らせると、実際に 羽粉を知らせると同時に、実際に らほで学ぶ講座。	 博物館/ワークショップ〜と、人 形作りには欠かせない羽粉という 材料を扱ってみたい講座。 動物/ハンズオン〜と、人 形作りには欠かせない羽粉という 材料を扱ってみたい講座。	 当館所蔵の演習員の中に巻連 具があることから、実際に組巻 を体験することで、人形文化に 関する知識・教養を深める。	 当館を代表する所蔵品である 大鶴の型を、市内にて製作し、 これに巻付けをする講座。	 当館の天竺人形コレクションに因 み、天竺様ゆかりのウグイスモ チーゴフにしたい縁起のよいホウ登を 作る。
日時	令和3年8月7日(土) 14:00~15:30	令和3年8月22日(日) 9:45~14:00	令和3年11月14日(日) 10:00~14:00	令和3年11月23日(火・祝) 14:00~	令和3年12月11日(土) 14:00~
会場	会議室	会議室	会議室	会議室	会議室
講師	当館文化財修復技術者	当館学芸員	安藤綾理氏(安藤家御家系宗元)	当館学芸員	当館学芸員
対象	小学3~6年	小学3~6年	小学5年生以上	小学5年生以上	小学5年生以上
参加費	200円	無料	1,500円	500円	200円
定員	16名(4名×4グループ)	20人×2回	各回10名	16名	16名
参加者数	10名	AM17名/PM10名 = 27名	18名(当日キャンセル2名/ 引き違い2名)	20名(キャンセル2名、1名持ち 帰り、当日参加1名 一部利用は2名分)	5名(キャンセル2名)

## 3 修復事業

年代を経た人形は非常に脆弱であるため、公開に伴う修理やメンテナンスを必要とする。そのため、所蔵品に  
対する文化財修復事業を柱のひとつとして進めてきた。現在は4名の修復技術者が交代で進めている。

### 【これまでの修復事業】

- 平成21年 業務委託内で2名の修復技術者によって開始。収蔵庫(プラザナース)に隣接した北区役所の会  
議室を借用し、職員と非常特別勤職員の間接準備アドバイザー監修のもと進行する。
- 平成23年 学芸員の採用によって、学芸員と技術者が検討を行いながら進める。
- 令和2年 2月に岩槻人形博物館開館。これまでの委託業務に変わり、市の会計年度任用職員として修復技  
術者3名を直接採用し、館内の修復室で修復を実施。
- 令和3年 10月に新たに修復技術者1名を採用し、4名体制で修復事業を進めている。

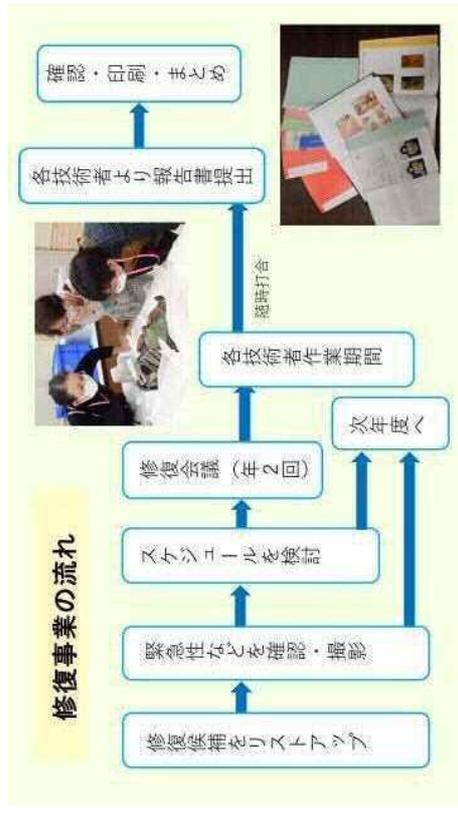
### 【修復技術者について】

4名のうち、漆工系の修理出身が2名、東洋書画修理専門が1名、仏像などの木彫修理専門が1名の構成となつて  
いる。各名が東京文化財研究所をはじめとした研究機関での修養や文化財修復の経験を有する経験者である。  
人形についてはもともと修復技術が確立していないため、人形修復の第一人者として豊富な経験を持ち、技  
法の開拓を進めてきた1名が適切な処置方法の指導役となり進んでいる。また、人形は複合素材のため、技術者

と担当学芸員で打ち合わせをし、それぞれの専門に適した修復対象を割り振るとともに、もともとの専門の異  
なる技術者が相互に情報交換をすることで、人形に対する修理技法の発展につながっていくものと思われる。  
4名の勤務は、1名は月3回、3名は月6回程度で進めている。

### 【修復事業の流れについて】

修復候補のピックアップから、報告書作成までの流れは図の通り。



修復室の様子  
恒温恒湿の空調管理エリアに含まれてい  
る。



担当者ごとの修復室の貼り出し。期限を  
記載し、各修復者の担当と締め切りが相  
互にわかるようにしている。



# 【議案2(審議事項)]令和4年度の事業計画(案)について

## 1 展示事業

### (1) 令和4年度事業スケジュール

令和3年度後半と4年度の事業スケジュールは素の通り。令和4年度は開館後3年目となる年であり、今後は限りある労力で長く事業を継続していくための安定も考えていく必要がある。

そのため、令和4年度から、特別展、企画展、企画展の他に特集展示という展示種類を新しく計画している。また、令和4年度は、秋の特別展と夏に予定していた普及系展示を抱き合わせで行うため、年間3本の展覧会開催予定となっている。

	2022年 (R4)			令和4年度			2023年 (R5)								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展・企画展・特集展示		1/20(土)~3/21(月祝) 企画展 「創作人形作家の魂とあふく 郷土人形の足元から」	4/5(日) 企画展 「創作人形作家の魂とあふく 郷土人形の足元から」	4/20(金祝)~6/21(日) 特別展 「クラムズ展」 おまもり展	9/25(金祝)~12/4(日) 特別展 「人形作り いろはの“い”~後世に伝えたい桐壱の技~」	1/1(土)~3/31(日) 企画展 「いろはの“い”~後世に 伝えたい桐壱の技~」									
常設	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え	常設展示替え
外部	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え	外部展示替え

### 【特集展示についての考え方】

- 企画展・特別展に比べると、ライトな内容にすることで、労力のメリハリをつける。
- ・ 内容によっては企画展示室を半分や3分の2などに区切って開催する。
- ・ パッケージ（シリーズ）をいくつか作り、繰り返し展示ができるようにする。
- ・ 特別展などの既存の成果の一部で構成する。

この他にも以下のような役割をイメージしている。

- ・ 学校見学の地域学習に対応できるよう郷土に関するメニューも作る。
- ・ 常設展示（展示室2）の構成に入らないパラエティ色の強いものも展開する。
- ・ 特別展につなげるためのプレ展示として、部分を試行展示する機会とする。

例えば...

人形作りの技シリーズ、世界の人形シリーズ、創作人形シリーズ、浮世絵シリーズなどを想定

### (2) 令和4年度 展覧会

#### ① 特集展示 シリーズ郷土玩具 「えんぎもの・おまもり (仮)」

期：2022年4月29(金・祝) ~8月21日(日)  
概要：展示室3の半分のスペースを用いて開催予定。郷土玩具を扱ったシリーズ。コロナ禍で癒しが求められる昨今、縁起が良く、愛らしなものの人気が高まっている。館蔵の日本各地の郷土玩具なかから、病魔退散の祈りが込められた赤色の玩具と、寺社仏閣の縁日などで出されたお守り・縁起物を紹介する。さらに、さいたま市内の郷土玩具として五間張子をとピック展示する。



向かって右から  
菟足神社の鍾馭面（豊知県）、会津張子の赤べこ（福島県）  
草津の狸々（滋賀県）、各地の蓑長持表（長野県など）

#### ② 特別展「人形作り いろはの“い”~後世に伝えたい桐壱の技~ (仮)」

期：2022年9月23日(金・祝) ~12月4日(日)  
概要：さいたまに伝わる伝統的な人形作りの技や歴史を紹介するとともに、関連イベント等でも人形作りを体験・体感することを通じて、地域の文化への理解を深める機会とする。子供向け解説パネルやワークショップ等を作成し、学校見学への対応、小中学生にもわかりやすい展示を目指す。また、当館ボランティア（にんぼ〜ら）による解説やイベントなどを実施し、ボランティア活動の成果を発揮する場とする。

#### 関連行事：講演会

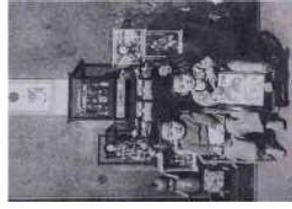
ワークショップ（にんらボ特別編）  
ボランティアによるギョララートーク  
職人トークショー（仮）  
刊行物：展覧会図録 A4判72頁程度（有償頒布）  
ワークブック A3判8頁（無償頒布）



職人の工房

#### ③ 企画展「思い出の雑祭り展 (仮)」

期：2023年1月末~3月末  
概要：これまで寄贈を受けた雑人形を一堂に展示する。プライベートな領域で大切に受け継がれてきた雑人形は、個人や家族の思い出と結びついた存在でもある。終戦後に大陸から苦勞して持ち帰ってきた雑人形、大きな商家の豪華な雑祭り、母方の生家から受け継ぎ、今日まで飾り続けてきた地方色あふれる古今雑など、寄贈者の思い出エピソードとともに様々な時代とタイプの雑人形を展示する。



寄贈者提供の古写真  
大連にて雑人形と

関連行事：講演会、ワークショップ、展示解説  
刊行物：パンフレット（A4・8ページ程度、無償頒布予定）

2 教育普及事業（ワークショップ）

令和4年度は以下のワークショップ開催を予定している。

(1) にんろぼ

令和2年度から開催している「人形作り」をテーマとした体験講座。  
これまでに桐壺編、胡粉編と続けてきた。令和4年度は普及事業を組み合わせにした特別展（本資料1-(2)-  
②参照）を9月～12月に予定しているため、特別展の関連事業として特別展編として開催する予定。

(2) つくろうシリーズ

人形をモチーフにした物作りの体験講座。市内で製作した型に絵付けをするなどの講座。

- 来年度は以下ものの実施を検討している。
- ①ふじ雛の絵付け…令和4年度春の雛祭り展（本資料1-(2)-③）関連行事として令和5年2月頃開催検討
- ②御殿玩具（福良雀）の絵付け…令和4年ゴールデンウィーク中のイベントとして単独で開催するか検討中
- ③うそどりのポチ袋…11月27日（日）を予定

大宮の絵付けやポチ袋は今年もボランティアと共に開催した。いずれも、定番講座としての開催、ボランティア主導の運営を目指している。

(3) その他

人形と関係する日本の伝統文化の体験講座

- ①組香シリーズ 講座と組香体験

令和3年度も実施し、申し込み多数で抽選開催となった講座。

申し込みが多く人気が高いため、今後も關鷲香、競馬香など人形と関係する文化講座として開催したい。  
当館学芸員による講座と外部講師による組香体験をセットにしたものを開催したい。

令和4年度春の雛祭り展（本資料1-(2)-③）関連行事として開催するか検討中



ふじ雛の見本



ポチ袋の見本

※令和4年度の事業については、さいたま市議会2月定例会での議決後に確定します。

3 広報・プロモーションの実施

(1) 趣旨

人形のまち岩槻において、地域資源である人形文化の振興を図るための拠点施設としての岩槻人形博物館では、令和4年度は年間来館者数を7.4万人（目標）と設定している。

さいたま市内外の潜在的・潜在的利用者に魅力を訴求し、さいたま市岩槻人形博物館への来館促進を目的として、広報・プロモーションを引き続き実施する。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時に多媒体で実施した周知活動を来館に結びつけることができなかつたことから、開館3周年記念事業として、改めて館の広報・周知活動のテコ入れを行う。

(2) プロモーションの実施

令和4年度は特別展をメインとした広報・プロモーションを実施するとともに、令和3年度に立ち上げた館公式SNS（インスタグラム）による情報発信を推進する。

項目	想定内容
交通広告等	駅での動画等を活用した広告等
WEB広告等	WEBやSNSなどを活用した広告等
SNS投稿	公式インスタグラムによる情報発信等
その他	訪日外国人向け 等

※開館3周年記念事業（案）

- ・市民向けプロモーション用動画作成  
⇒効果的な広報（新都心や区役所など公共施設放映や動画配信）
- ・館使進用のノベルティグッズ製作  
⇒開館3年となる、まちかど難めぐり開催時期（2月）や大宮盆栽美術館などとの連携に使用。

4 地域との連携

(1) 継続事業

- 「岩槻人形博物館」「にぎわい交流館いわつき」「いわつきポイントカード事業協同組合」相互割引
- 株式会社東横インとの提携
- 「着物で岩槻」 着物で岩槻人形博物館に来館した方には、観覧料を無料とする。

(2) 特別展期間

「にぎわい交流館いわつき」等と連携したイベントを計画・実施